

授業

In My Case | 1・2年次



1年次

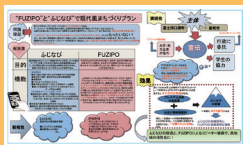
沖縄の真の素晴らしさを
知った「観光社会学」

大学の志望理由のひとつが、海外に誇れる日本の財産を発掘することでした。「観光社会学」では、まさに日本が誇る観光名所である沖縄について学び、自然風景だけでなく、戦争の痕跡などさまざまな側面からアプローチしました。

2年次

「地域活性化」がテーマの
ゼミナールでリーダーに

山梨県を活性化するプロジェクトで、グループのリーダーとして活動しました。企画立案からプレゼンテーションの準備など、試行錯誤の連続。グループ全員で協力する難しさや人をどう動かすか、マネジメント力が問われました。



観光まちづくりコンテストに参加した際の企画書

ATOMI
のひとみ

2年次の経験を生かし
再度、プロジェクト
リーダーに挑戦したい

ゼミナールで参加している「観光まちづくりコンテスト」は毎年開催されているので、もう一度リーダーにチャレンジしたいです。プランの進め方やプレゼンテーションの方法を工夫し、一人一人の役割をしっかりと決めて、結果を残したいです。



観光グランドデザイン

村上 雅巳 准教授

政府や自治体の観光に関わる基礎知識を修得

本講義では、観光に関わる政府（特に観光庁）や地方自治体等の施策、政策に関する基礎的な知識の修得を目的とします。また最新の観光動向等についても適宜取り上げます。広範囲にわたる政府等の観光行政と政策に関する基礎知識を正確に理解することにより、観光グランドデザイン力の醸成をめざします。『観光白書』をテキストとして活用しつつ、授業ごとに関連資料を配付し、できる限り具体的な事例を紹介しながら授業を行います。

観光交通論

老川 慶喜 教授

「交通」が「観光」を豊かにする！

鉄道、バス、航空機などによる「交通」サービスがなければ、「観光産業」は成り立たない。ここでは、観光と交通の関係を理論的・歴史的に考察するとともに、その現状を明らかにし、観光デザイン力を養います。

リゾート経営論

安島 博幸 教授

リゾート経営の発展を過去に学ぶ

明治初期に外国人が開いた軽井沢リゾートの歴史は、鉄道開通で寂れた旧宿場町の再生でもありました。高原、山岳、海浜などのリゾート経営について、過去の成功・失敗の事例を学ぶことで、地域の独自の発展を支援する観光デザイン力を高めます。

クローズアップ

ゼミナール

ゼミナールは、少人数のメンバーで行われる対話型の授業スタイル。調査・研究・発表の方法を学び「演習」とも言われます。



観光デザイン演習

篠原 靖 准教授

理論を実践として活用できる能力を開発

観光産業の現場では頭で理解した理論を自ら応用し、新たな事業を創造できる能力、すなわち「学んだ理論を自らが実践できる力」に成長させることが求められています。本ゼミナールでは観光産業界とさまざまな産官学連携を行い、学外での実践教育を推進しています。近年では、大手旅行会社、会津若松市との連携による「会津旅行商品開発プロジェクト」を実施。学生が会津若松市でインターンシップを行い、旅行商品の開発を行いました。

卒業論文・卒業研究のテーマ (2014年度/一部抜粋)

- イベント開催の経済効果
- 結婚式—伝統文化と変わりゆくかたち
- 沖縄の観光と世界遺産の活用
—那覇市と南城市の協力関係に向けて—
- 日本和紙の歴史と展開—細川紙を中心に—
- 大河ドラマの視聴率の動向と観光活性化政策
- 温泉地活性化に必要な着地型観光の重要性
—湯布院温泉を事例に—
- 埼玉県を舞台にしたアニメツーリズムの取り組みの考察
- 持続可能な観光開発
—日本の世界遺産をエコツーリズムの観点から—
- 動物園と観光事業—動物園が生き残るには—
- 日本企業のCSR活動と課題
- 富士山の世界遺産登録—進捗の対象と芸術の源泉—
- 新幹線の開通がもたらしうる効果において懸念される観光の光と闇
- 負の聖地巡礼—福島第一原発の観光地化から考える
—ダークツーリズムが担うべき役割—

In My Case | 3・4年次



3年次

「旅行産業論」で旅行の宣伝方法を学んだ

旅行商品の企画内容だけでなく、ソーシャルネットワーキングサービスを使った宣伝方法も学び、人々の需要にどう応えていくかを知ることができました。それぞれの地域が実際に行っている観光の取り組みも勉強になりました。

4年次

ゼミナールの経験を生かし卒業論文も地域活性化に

地域活性化をテーマに活動してきたゼミナールの経験を踏まえて、卒業論文では「カジノを含む統合型リゾートを造って、外客を誘致すること」をテーマにしました。海外の成功例を挙げながら日本で実現可能かを考察しました。



ゼミナールのフィールドワークで本栖湖へ



地域活性化の学修を根底に公務員として住民をサポート

ゼミナールで地域活性化のプロジェクトに参加し、取り組んできた経験から、各地域に住む方々のサポートをしたいと思うように。卒業後は公務員として住民の支えとなり、一人一人のニーズに答えていけるよう頑張りたいです。